

表3 各調査地点における内分泌攪乱化学物質大気環境調査結果

(単位: ng/m<sup>3</sup>)

物質名	調査時期 (注)	津島市	小牧市	日進市	国の環境実態調査 における検出濃度 範囲 (10~15年度)	備考
ヘキサクロロベンゼン	夏季	0.093	0.11	0.10	0.04~0.40	殺菌剤、有機合成原料
	冬季	0.12	0.11	0.11		
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	夏季	N.D.	N.D.	(2.1)	N.D.~360	プラスチックの可塑剤
	冬季	N.D.	N.D.	N.D.		
フタル酸ブチルベンジル	夏季	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.~5.5	プラスチックの可塑剤
	冬季	N.D.	N.D.	N.D.		
フタル酸ジ-n-ブチル	夏季	4.0	3.4	3.3	N.D.~160	プラスチックの可塑剤
	冬季	N.D.	(1.1)	(0.7)		
フタル酸ジシクロヘキシル	夏季	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.~4.9	プラスチックの可塑剤
	冬季	N.D.	N.D.	N.D.		
フタル酸ジエチル	夏季	(1.3)	(1.2)	(1.0)	N.D.~18	プラスチックの可塑剤
	冬季	N.D.	N.D.	N.D.		
アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	夏季	N.D.	(3.2)	(1.6)	N.D.~21	プラスチックの可塑剤
	冬季	N.D.	(0.9)	(0.8)		
フタル酸ペンチル	夏季	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.~1.5	プラスチックの可塑剤
	冬季	N.D.	N.D.	N.D.		
フタル酸ジヘキシル	夏季	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	プラスチックの可塑剤
	冬季	N.D.	N.D.	N.D.		
フタル酸ジプロピル	夏季	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.~2.0	プラスチックの可塑剤
	冬季	N.D.	N.D.	N.D.		

(注) 調査時期の夏季は平成16年8月4日~8月5日、冬季は17年1月25日~1月26日(津島市のヘキサクロロベンゼンについては17年1月26日~1月27日)に実施。

参考 N.D.は、検出下限値未満であることを示す。

括弧内の値は検出下限値以上、定量下限値未満であることを示す。

単位: ng(ナノグラム)は、10億分の1g(グラム)。